

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月19日

【評価実施概要】			
事業所番号	3890100153		
法人名	日本ケアシステム株式会社		
事業所名	グループホームよろこび		
所在地	松山市堀江町2082-1 (電話) 089-978-7711		
管理者	伊藤 康明		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	松山市持田町3丁目8-15		
訪問調査日	2007年6月4日	評価確定日	2007年7月24日

【情報提供票より】(19年5月22日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	昭和・平成 18 年 9 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 8 人, 非常勤 1 人, 常勤換算	

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	53,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,300 円		

(3) 利用者の概要(5月22日現在)			
利用者人数	8 名	男性 2 名	女性 6 名
要介護1	2 名	要介護2	0 名
要介護3	1 名	要介護4	3 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 82 歳	最低 76 歳	最高 89 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算	
指定(あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定 あり(・なし)	指定認知症対応型通所介護
届出 あり(・なし)	短期利用型共同生活介護
加算(あり)・なし	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】
ホームのすぐそばに瀬戸内海が広がり、のびやかな趣がある。ワンフロア・ワンユニットで共有スペースも居室もゆったりとした広さと雰囲気有している。利用者は一人ひとり自由に思い思いに過ごされ、笑顔が印象的である。管理者が看護師としての知識と経験を有しており、質の高いケアを目指している。

【質向上への取組状況】
▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
はじめての評価なので取り組みはない。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
第一回の評価を職員全員で取り組むことで、サービスの質を向上させていこうという前向きな姿勢がみられる
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
メンバーの検討・選任も行い、初回の運営推進会議に向けて準備をしている。地域に開かれた地域密着型サービスの質の向上を図る機会ととらえ、地域のキーパーソンをメンバーに加えて話し合いを重ねていくことで、地域との交流促進に繋げていって欲しい。市の担当者とは情報交換をする機会が多くあり、様々な連絡会議にも参加している。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
家族へは定期的な報告を行っている。主治医への受診や利用料の支払いなどできるだけ来訪の機会をつくるようにしている。どんなことでも話せる雰囲気づくりと、家族の思いを聴きたいという職員の思いを伝えて、顔を合わせて話すことで信頼関係を結んでいき、その結果気兼ねのない意見を聞くことができ、即運営に活かしていけている。
▼ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
ホームの母体法人全体として地域の行事に参加している。行事とは別に、日常的に出かけられるお店や神社、公民館、ご近所さんなど馴染みの場所を見つけて、地域とホームの利用者がふれ合いながら暮らしていける場を積極的に設けて取り入れることを期待する。

自己評價結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!
ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに○を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

●家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

●職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

●チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 よろこび

(ユニット名)

記入者(管理者)
氏 名 伊藤 康明

評価完了日 19年 5月 22日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 管理者・職員と話し合い、複数項目作成により事業所独自の理念をつくりあげている。 (外部評価) 「よろこび」というホームの名称自体が理念を意識して付けられているが、地域の中で、近隣住民と共にサービスを提供するという内容には至っていない。	※	利用者一人ひとりの暮らしぶりを大切にしてきた理念に加えて、さらにこの地域と結びついたサービスを取り込んだ理念をつくりあげていくことが望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 管理者と職員はグループホームの意義を理解しており、理念を共有し実践に向けて日々取り組んでいる。 (外部評価) 日々の様々な生活の場面の中で、利用者のみでなく職員も「笑顔」でいられることを意識して取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族等には理解してもらっているが、地域の人々迄には浸透していない。	※	今後、地域の人々にも理解してもらえるよう取り組んでいきたい。
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 隣近所の人とは挨拶程度で、日常的な付き合いはできていない。	※	気軽に声を掛け合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるように努めていきたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) よろこび全体で、行事等地域活動に参加し、地元の人々と交流しているが、GH単独ではない。 (外部評価) ホームの母体である法人全体として地域の行事に参加しているために、ホーム独自では地域とのつきあいが少ない。	※	よろこび全体プラスGHも一緒に行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流するよう努めていきたい。
				※	日常的に近所の方とホームの利用者がふれ合いながら暮らしていける場面づくりを工夫して、積極的に取り入れることを期待する。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) よろこび全体として、行事等あれば、隣近所にチラシを持って行き参加を呼びかけている。	※	今後、全体ではなく、GHで地域の高齢者等の暮らしに役立つことが無い話し合い、取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価の意義の理解はしているが、外部評価初回にて評価を活用する迄には至っていない。 (外部評価) 第一回の評価を職員全員で取り組むことで、サービスの質を向上させていこうという前向きな姿勢がみられる。	※	評価結果を活かして具体的な改善に取り組んでいきたい。
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議未実施。評価結果の公開後行なう予定である。 (外部評価) メンバーの検討・選任も行い、初回の会議に向けて準備をしているが、開催には至っていない。	※	公開後、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしていく。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市町村等が開催する事業連絡会・ケアマネ連絡会等に参加し、サービスの質の向上に取り組んでいる。 (外部評価) 市の担当者と情報交換をする機会が多くあり、様々な連絡会議にも参加している。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 管理者が制度について意義や内容を周知してもらえるよう説明し、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 管理者が関連法について意義や内容を説明し、虐待が見過ごされることがないように、注意を払い防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約・解約の際、本人の様子、家族の気持ち、主治医の話、ケアマネの意見を聞き、理解納得を図っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 直接意見、不満・苦情を管理者や職員に表現する利用者が少ない。	※	家族からの意見、不満・苦情等は、家族会を定期的に開き運営に反映させたい。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 電話・面会時等に状況報告し、写真等渡している。金銭管理は毎月請求の際、明細と領収書をつけている。		
			(外部評価) 定期的な報告はもとより、主治医への受診や利用料の支払いなどできるだけ来訪の機会をつくるようにして、顔を合わせて話している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご意見箱を設置したり、意見・不満・苦情を管理者・職員及びに外部者へ表せる機会を設け反映させている。		
			(外部評価) どんなことでも話せる雰囲気と、家族の思いを聴きたいという職員の思いを伝えることで、信頼関係を結んでいる。		
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月一回（月末）に職員ミーティングを開き、運営に関する意見や提案等を聞き反映させている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 3人体制を基本とし、ホーム長がフリーで勤務しており、必要時にはサポートできるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 開設時より異動者1名いるが期間も短かった為、それ程利用者へのダメージはなかった。以後異動なし。 (外部評価) 職員の異動はほとんどなく、職員を自分の娘の名前で呼んだりする利用者との関係を損なうことのない配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 様々な研修会の情報を公開して参加できるようにしている。研修内容について報告書を書いてもらい、ミーティング時に報告し、他の職員にも周知している。 (外部評価) 常に研修会の情報を提供し、積極的に参加できる体制をとっている。		
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 愛媛県GH連絡協議会等に入会しており、交流する機会を持ち、勉強会・相互訪問等しサービスの質向上に努めている。 (外部評価) 管理者個人として交流する仲間づくりはできているが、組織的なネットワークはできていない。	※	地域のホームがネットワークを組むことで、お互いのサービスの質を向上させることはもとより、地域全体の福祉力を向上させていくことにつながることを期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員の休憩室がなく、職員間で話し合い休憩時間を取っている。スタッフ相互の親睦会もしている。	※	ゆっくり休める部屋がないので、会社と検討していく。ストレス解消の研修を職員が代表で受け、職員に伝え、ストレス軽減するようにしたい。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 様々な研修会の情報を公開して、参加者を募るなど、各自が向上心を持って働けるよう勤めている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談があると、相談員・ケアマネ等から情報提供書を送ってもらい、事前調査を行い必要に応じ訪問し、判定会議後入居するかどうか決めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談があると、家族等に見学に来てもらい、困り事・不安・求めている事等、よく聴き受けとめる努力をしている。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) まず必要としている支援を見極め満床時の対応、他のサービス利用も含めた対応に努めている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人・家族・相談員・医師等と話し合い、サービスをいきなり開始するのではなく、体験入所を通して納得してもらう。 (外部評価) 見学や体験入居などを取り入れて、無理なく馴染めるように工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 料理の作り方を教えてもらったりなど、それぞれのこれまでの経験をホーム内でも継続できるよう支援している。 (外部評価) 職員は、認知症やグループホームの特性を理解しており、利用者に頼ることもあり、寄り添いながら生活を共にしている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 各行事等には、事前に連絡し参加を呼びかけ、面会時には、その写真を渡したりなど、一緒に本人を支えていくよう、積極的にコミュニケーションを図っている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会等少ない利用者には電話を掛け、日常の様子を伝えたり、月1回は来てもらえるようお願いし、より良い関係が築けるよう支援している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人が大切にしてきた馴染みの人は来てくれるが、場所との関係が途切れている。	※	今後、馴染みの人や場所が途切れないよう関係維持に努めていく。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員が利用者同士の関係を把握した上で、係わり合い、支えあえるように努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 契約終了後も相談室等があれば、いつでも応じている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 一人ひとりの思いや意向を把握した上で、本人が自由に過ごせるようにしている。		
			(外部評価) 手出しや口出しはしないで、できるだけそばに居て、利用者の思いを聴くようにしている。しかし、記録としての蓄積がなされていない。	※	一人ひとりの職員が、聴きとったり感じたことを記録して、チームとして共有していくことが大切であるので、工夫を期待する。
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりのこれまでの暮らし方、生活歴等把握している。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態等総合的に把握している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 家族面会時間に、ケアのあり方について話し合ったり、職員の意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。		
			(外部評価) 介護計画の内容を、職員が共有しているだけでなく、家族も承知しており、評価や気づきを介護計画の見直しに反映させている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 介護計画は3～6ヶ月ごとの定期的な見直しと、必要に応じて随時見直しを行っている。		
			(外部評価) 期間を明示して見直しているが、月1回の全員参加のミーティング時に出された気づきで見直すこともしている。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 各ファイルに日々の様子やケアの実施等記入し、情報を共有し、介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) デイサービス（体操・ゲーム等）や有料の行事等に参加している。		
			(外部評価) 開設1年なので具体的な取り組みはないが、行う姿勢はある。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 本人の意向や必要性に応じて地域資源との協働は今の所はない。	※	今後、本人の意向や必要性に応じて民生委員やボランティア等と協力しながら支援していきたい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の意向や必要性に応じて家族等も含め、他のケアマネや事業所と話し合っている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 本人の意向や必要性に応じて訪問や電話等で協働している。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 各利用者に主治医がおり、24時間相談・対応が出来るようになっている。 (外部評価) 各利用者の主治医と情報を共有し、相談のできる関係づくりをしている。加えて協力医の日常的往診、24時間対応の協力関係をつくっている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 各利用者に主治医がおり、職員が相談したり、利用者が診断や治療を受けられるよう支援している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師が日勤でおり、日常の健康管理等支援している。いない時は電話で相談している。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院した場合、医療機関と頻繁に連絡を取り、早期退院に向けて話し合うようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した場合の対応に係る指針作成しているが、現時点では重度化等なし。方針は全員で共有している。 (外部評価) 終末に対する対応指針を定めて話し合いをしている。更に状況の変化に応じた話し合いを重ねていく姿勢がある。	※	今後重度化や終末期が必要になった場合、早い段階から本人や家族等及び主治医と話し合っていく。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 現時点ではないが、今後に備えて取り組んでいく。	※	必要になった場合、今後の変化に備えて検討や準備を行っていく。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人・家族・主治医・ケア関係者間等で十分話し合い、情報提供書等作成し、ダメージを防ぐことに努めている。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 一人ひとりの様子を見ながら話をよく聴いている。記録等の個人情報の取り扱いはしていない。 (外部評価) 人生の先輩として利用者の尊厳を守れるように、言葉かけや内容に十分配慮している。個人の記録や情報の取り扱いに注意を払っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) お誕生会・外出時等に食べたいものなど選んでもらったり、毎食後歯磨きをする方、居室へ戻られる方等、自由に過ごしてもらっている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者のペースを第一に考え、無理に物事を進めないようにしている。 (外部評価) 利用者一人ひとりが、やりたい事をする事ができるよう支援しており、無理強いすることはない。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 利用者の要望によって馴染みの理美容院へ行ってもらったり、出張理美容も取り入れている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 職員は利用者と同じテーブルで食事をしながら何気なく介助している。一緒に準備や片付けをしている。 (外部評価) 胡麻を搾ってもらったり、配膳や片付けを一緒にしている。食材の話、野菜を提供してもらった話など会話をしながら食事を楽しんでいる。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 利用者の自由を尊重している。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 周囲の状況にも配慮して誘導したり、プライバシーにも十分配慮し、居室あるいは対処し易い障害者用トイレで対応している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 曜日や時間帯に関係なく一人ひとりの要望に合わせた入浴が出来るよう支援している。 (外部評価) 思いついたとき入浴できるように支援している。居間の真ん中でバスタオルを肩に、気持ちよさそうにドライヤーをかけてもらっている方を、周りに座った利用者はにこにこ笑顔で眺めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、安心して気持ち よく休息したり眠れるよう支援 している	(自己評価) 利用者一人ひとりの睡眠パター ンの把握や生活リズム作りを通 して安眠できるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの 支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 歴や力を活かした役割、楽しみ ごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 読書やぬりえ、ビデオ鑑賞・カ ラオケ等それぞれに楽しみなが ら行えるよう支援している。 (外部評価) カラオケを歌うのがうれしくて 歌っている方、その方が歌って いるのを眺めるのがうれしい方 、昔の教科書を朗読される方、 それを聞く方、など思い思いに 過ごしている。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している	(自己評価) 自己管理出来る利用者は自分 で、出来ない利用者については 家族と相談した上で、事務所で 預かって、いつでも使えるよう にしている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援している	(自己評価) 近くに商店がない為、買い物に 行く機会が少ない。 (外部評価) 月に1度は行事を組んで出かけて いる。ふいに外へ出かけられる 利用者にも職員が付き添い、海 を見ながらの散歩を行っている 。しかし、日常的な外出の機会 が多いとは言えない。	※	職員が買い物に行く時とか買 い物の日を計画し、ショッピング 等を楽しんでもらう。
62		○普段行けない場所への外出 支援 一人ひとりが行ってみたい普 段は行けないところに、個別あ るいは他の利用者や家族ととも に出かけられる機会をつくり、 支援している	(自己評価) ドライブ・花見・鷹ノ子温泉・ イチゴ狩り等に出掛け、家族 等にも極力参加してもらって いる。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが 電話をしたり、手紙のやり取り ができるように支援をしている	(自己評価) 手紙等のやり取りは自由に しているが、電話を活用する 利用者が少なく、掛かって きた電話を取り次ぐ程度であ る。	※	本人から希望があれば、いつ でも電話出来るようにしてい る。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) ホーム内どこでも自由に過ごしてもらっている。来客用の食器も準備している。		
(4)安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束のないケアを実践している。もし拘束する場合は、家族等に同意書内容を確認・署名・捺印してもらっている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間以外は常に開錠している(6:00～21:00迄) (外部評価) 玄関のみでなく台所の勝手口など自由に出入りしているが、どこにいても全て見渡すことができる。また、座るとすぐ立ち上がって動きまわる方がおられたが、静止することもなく笑顔で見守っている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 昼夜通して利用者の所在や様子を常に確認し、安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物品については保管方法や管理場所などを決めている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故報告書・ヒヤリハットを作成し、ファイルしている。事故発生後、再発防止について具体的に話し合っている。		
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変や事故発生に備え、応急手当が出来るよう、消防署の協力を得て、救急救命法の訓練をしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 昼夜問わず利用者が避難できる方法は、訓練等で身につけているが、地域の人々の協力を得られていない。 (外部評価) 隣接している施設の協力を得て、避難訓練や救命救急実習を行っている。	※	今後、地域の人々の協力を得られるよう働きかけたい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こりうるリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 一人ひとりに起こりうるリスクについて家族等に説明し対応策を話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日、血圧・体温・脈拍を測定し、必要に応じてSPO2測定し、記録に残している。気付は大事にしている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 医師の指示通りに服薬出来るよう支援確認し、薬についての説明書も介護記録にはさみ、確認出来るようにしている。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食物繊維の多い食材を使用したり、牛乳を飲用してもらったり、散歩等に誘ったりしている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の歯磨き、入れ歯の手入れ等、利用者の状態に応じた支援をしている。訪問歯科の指導も受けている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士にバランスのチェックをしてもらい、摂取量・水分量等一人ひとり日誌に記入している。 (外部評価) 栄養士によるカロリーやバランスのチェックがあり、摂取量・水分量についても一人ひとり記録をとって管理できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染マニュアルを作成している。手洗い他予防に向けての取り決めを各所に指示し、日常的に実行している。予防接種やペーパータオルの設置もしている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 布団・まな板等は塩素剤による殺菌や日光殺菌、冷蔵庫等はアルコールで清掃し食材の管理も適切に行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周りに草花を植えたり、鉢やベンチを置き、親しみやすい表札を掛けたり、入り口に人形等を飾っている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 照明は間接照明等で工夫し、陽射しは、レースカーテン・ブラインドで調節している。BGMを流して雰囲気を和らげている。 (外部評価) 共用空間は十分なスペースがあり、ビデオを見たりカラオケができるコーナーもあり、気の合った同士が過ごしている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) テーブル周り、畳のスペース・ソファテーブル・マッサージ機等を置き、思い思いに過ごせるような居場所作りをしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 自由に持ち込めるようにしているが、十分ではない。 (外部評価) 畳の上で寝たい方は畳を敷いたり、それぞれに思い思いのものを持ち込み、自分の居場所をつくっている。	※	使い慣れた小物入れ・椅子・仏壇・人形・装飾品（写真など）を持ち込んでもらい、自分らしさを感じられるようにしたい。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 適時、換気を行っている。共用空間に室温計を設置し、温度調節の目安にしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 利用者が安全・安心に使えるようなトイレ・浴室・要所への手すり設置等本人の力を出来るだけ使って生活が送れるように工夫している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室の入り口に眼の高さに親しみやすい表札を貼ったりなど、自立して暮らせるように工夫している。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関前にベンチを設置し、外気浴回季の草花をゆっくり楽しめるようにしている。屋根がある為、雨降りの日も利用できる。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3 くらいの 3 利用者の1/3 くらいの 4 ほとんど掴んでいない 職員一人ひとりが、利用者の思いや願い等を日常よく聴いており、暮らし方の意向を掴んでいる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある 2 数日に1 回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない 利用者の間（テーブル）に座って、ごく当たり前のようにお茶を一緒に飲んだり、雑談したりゆったりとした時間を過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3 くらいが 3 利用者の1/3 くらいが 4 ほとんどいない 利用者のペースを第一に考え、柔軟に対応し、利用者中心の生活を送っている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3 くらいが 3 利用者の1/3 くらいが 4 ほとんどいない 職員が支援する事で生き生きした表情や姿が見受けられる利用者と、そうでない利用者がある。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3 くらいが 3 利用者の1/3 くらいが 4 ほとんどいない 意思表示のある利用者と、いない利用者がある。また、日によって変動もあるが、出来るだけ戸外の行きたい所へ出掛けている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3 くらいが 3 利用者の1/3 くらいが 4 ほとんどいない 協力医とは、24時間いつでも気軽に相談できるようになっている。訪問歯科も週間に1度ある。また、ホーム長が看護師の資格を持っている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3 くらいが 3 利用者の1/3 くらいが 4 ほとんどいない その時々状況や要望に応じ、臨機応変な対応により安心して暮らせている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3 くらいと 3 家族の1/3 くらいと 4 ほとんどできていない 職員はほぼ全ての家族と困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係が出来ている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③たまに 4 ほとんどない 通いの場やG Hにお馴染みの人は訪問してくれるが、地域の人々が訪ねてくるのはたまにである

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない ④ 全くいない	運営推進会議未実施である。評価結果公開後実施する予定であり、会議後は地域住民や地元の関係者とのつながりを深めていきたい。
98	職員は、生き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員同士のチームワークもよく、和を図り生き活きと働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者は職員とコミュニケーションも取れ、信頼関係も出来ており、サービスにおおむね満足していると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	利用者の家族等も職員とコミュニケーションも取れ、信頼関係も出来ており、サービスにおおむね満足していると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

※海が近く、潮の香りがするホームです。四季折々の自然を感じられるよう、草花等植えたりし、素直に美しいと感じられ、人の優しさに触れ、素直にうれしいと言えるとき、きっとそこには笑顔がある。スタッフ一同、いついかなるときでも、笑顔を忘れず楽しく、入居者様及びその家族と共にお互い尊重しあい、助け合い、「まず、自分ですることに対しチャレンジしてもらおう。」「自分で出来る喜びと達成感のある暮らし」で、入居者様自身の自信と活力につなげていけたらと思っています。